

北陸情報通信協議会イノベーション部会 令和3年度第1回ワーキンググループの概要

「異業種・分野間連携」～デジタル化により実現可能となる横断的・総合的視点から～



イノベーション部会は、令和3年10月28日(木)、金沢勤労者プラザでワーキンググループ第1回会合をハイブリット方式により開催しました。

最初に、丹 康雄部会長(北陸先端科学技術大学院大学 副学長 教授)から、分野間連携の考え方を整理するために、加賀市スーパーシティ提案のデータ連携基盤のシステム図をもとに、FIWARE(ファイウェア)などのデータ連携基盤を使用することで、異なる分野の「状況を推測する」から「状況を取得する」に変化し、そのことにより新たなサービスの創出などが実現することの説明がありました。

また、全ての産業でのデジタル化が不可避なことから、実現するにはクラウドやソフトウェア等のデジタル産業の強化が必要であり、業界内で個々が持っているデータ等を価値あるものにするため、業界クラウドの重要性が強調されました。

さらに、分野間連携を行うには、異なるシステム間の連携やIDの取り扱い、デジタル化に向けた人材育成等の諸課題があるなどの説明・提起がありました。

次に、大西祥浩WG主査(北陸先端科学技術大学院大学 特任教授)の進行により、各WG委員からの「分野間連携」に関する実績やアイデアのプレゼンテーションが行われました。また、事前にWG委員対象に取り組んだアンケート結果等を踏まえて議論が行われ、各業種が持っている情報・データが、必要なタイミングで必要な業種等に提供されず活用されていない等の問題点が出されるとともに、解決のための方策について意見交換を行いました。

今後、12月に第2回ワーキンググループ会合を開催し、更なる論議・意見交換を行います。



【金沢勤労者プラザの様子】



【金沢勤労者プラザの様子】